**L’s College おおさかの年間目標**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **1回生** |  |  |  |  |  |
| **4月** | **5月** | **6月** | **7月** | **8月** | **9月** |
| 新しい環境に慣れ、個々の力を発揮するための支援計画の策定を行う。個別の力を把握し、学習グループや支援方針を決定する。 | | | 学習場面や体験的な活動場面において、集団行動や協調性、自己の表現の向上をめざす。 また、課題に対する意欲や集中力を養う。 | | |
| **10月** | **11月** | **12月** | **1月** | **2月** | **3月** |
| 交流学習や外部との連携より、他者との関わりを楽しみ、集団活動を通じて、達成感や充実感を感じる。また、前期試験を通じて、課題に対する持続力と集中力を養う。 | | | 儀式的な学習(成人の集いや学習発表会)に主体的に参加することで、自らの役割や責任を感じる。また、発表場面において、自己を表現できるようになる。 | | |
| **2回生** |  |  |  |  |  |
| **4月** | **5月** | **6月** | **7月** | **8月** | **9月** |
| 儀式的な学習（入学式やオリエンテーション等）に主体的に参加し、役割と責任を持つことで、上級生としての意識を養う。また、修学旅行を体験することで、より深い友人関係の構築に努める。 | | | 新入生の入学により、上級生としての自覚を持つことで、主体的な役割を意識し、集団行動や協調性、自己の表現の向上を行う。また、後輩と関わりを持つことで、コミュニケーションのさらなる深化を図る。 | | |
| **10月** | **11月** | **12月** | **1月** | **2月** | **3月** |
| L's College おおさか修了後の進路を考え、次のステップへの自覚を促す。また、交流学習や外部との連携を通じて、主体的な役割を意識し、他者との関わりを楽しめるようになる。 | | | 儀式的な学習(成人の集いや修了研究発表会、修了式等)を通じて、社会のルールや礼儀の大切さを学び、自分なりに気持ちを表現できるようになる。 また、学習の集大成として、2年間の学びの成果を得られるようにする。 | | |
|  |  |  |  |  |  |
| **3回生** |  |  |  |  |  |
| **4月** | **5月** | **6月** | **7月** | **8月** | **9月** |
| 社会の仕組みや様々な職業について知り、社会で必要なマナーやルールについて学ぶ。また多様な交流の機会を通じて、社会経験を積み、対人関係スキルの向上を図る。加えて、働くための心と体を育成するために、作業学習を取り入れる。 | | | | | |
| **10月** | **11月** | **12月** | **1月** | **2月** | **3月** |
| 社会生活に必要な学習を講座として実施し、社会自立に向けた学びを継続するとともに、室内作業及び施設外での清掃作業を通じて、働く意識と体を養う。また、店舗体験により、接客の体験や、アイロン、衣服の取り扱い等、生活力の向上に向けた取り組みを強化する。 | | | | | |
| **4回生** |  |  |  |  |  |
| **4月** | **5月** | **6月** | **7月** | **8月** | **9月** |
| 学習プログラムに外部講師を招くなど、学びをステップアップさせる中で、主体的に行動できるような工夫を行い、学びの質を深化させる。また、グループや個別での実習の機会を増やすことで、社会体験や就労実習の深化を図る。 | | | | | |
| **10月** | **11月** | **12月** | **1月** | **2月** | **3月** |
| 修了後の進路相談を通じて、自身の将来を考える機会を持つ。グループ及び個別での実習の質を高めることで、就労に対する意識付けを行う。 | | | 修了後の進路を意識し、企業実習等を行うことで、働くことへの意欲と自信を高める。また、自分に合った社会参加の方法を考え、働くための準備を整える。 | | |